



第127号 2011年9月号(毎月10日発行)
 発行 生活協同組合ヘルスコープおおさか
 発行責任者 池田 憲
 ☎538-0053 大阪市鶴見区鶴見3-6-24
 ☎06-6915-8855 F A X 06-6915-8822
 編集 広報委員会

ヘルスコープおおさかの現勢

2011年7月31日現在

組合員数	78,632人
出資金	1,676,861,900円
平均	21,325円

ホームページアドレス

<http://www.health-coop.jp/index.html>

E-mail sosikibu@health-coop.jp

*転居・家族の異動等があった場合、上記にご連絡下さい。

ヘルスコープおおさかの基本理念

ヘルスコープおおさかは、保健、医療、福祉の事業と運動を通して、一人一人の人間が大切にされ、生きる喜びが実感できる地域社会をつくります。

ナースに絶対になりたい

300人の高校生が一日看護師体験



病棟で足浴



▶病棟で患者さま、スタッフと一緒に

コープおおさか病院看護学生委員会主催の高校生一日看護師体験が今年も8日間にわたり開催されました。大阪府下の32校より300名の高校生が参加しました。今回は看護師だけでなく医療専門家を目指すコース、診療所や訪問看護の体験コース、病院看護師体験コース、に分けて行いました。医療専門家のコースではリハビリや薬剤師、放射線技師、検査技師などの体験をおこないました。診療所体験ではヘルスコープおおさかの9つの診療所と2つの訪問看護ステーションで実際に往診や訪問

看護奨学生募集

将来看護師になりたいと考えておられる高校生、看護学生の皆様。ヘルスコープおおさかでは看護学生の勉学や費用を支える奨学金制度を設けております。ヘルスコープおおさかの奨学生は様々な企画とおしての仲間づくりや地域の組合員との交流も含め、就職してからも教育や研修制度も整っています。

★対象者

看護学校に在籍している方
(看護学校入学見込みの方)

※詳細はお問い合わせ下さい

★貸与金額 月々 55000円

★返済免除 卒業後コープおおさか病院に奨学金を受けた期間と同期間勤務した場合、返済が免除

お問い合わせ

コープおおさか病院
看護学生担当 : 吉永
電話

06-6914-1100

アドレス

n-yoshinaga@health-coop.jp



組合員もあいさつしました



患者さま宅へ訪問看護体験



奨学生と血圧測定

看護への同行や、デイケア利用者の手浴、足浴など地域密着の医療を体験してもらいました。病院看護師体験は病棟で入院患者の手浴、足浴、手術室や処置室の看護師体験をしました。

参加者からは、「一人での参加に不安があったけど皆さん優しく楽しめました。今日、コープおおさか病院に来て本当に良かったです。絶対にナースになりたいと思いました。」「看護師を決意した瞬間を大切にしたい。」「この言葉に感動しました。今日、本当にやりたいと思えました。」「診療所体験が一番よかったことはやっぱりお家に行って話を聞いた事です。今はそういう機会が減ってきています。お家

に行つて話しを聞くという事がとても身につきました。」「などの感想が寄せられました。」「地域で看護師を増やし、将来一緒に働く仲間を増やす」を目的にしたこの高校生1日看護師体験。今回もたくさんの方達の協力で充実した内容で取り組む事が出来ました。私たちの思いが伝わり、

私と同じ医療人として再会出来る事を楽しみにしながらこれからも看護師を増やす色々な取り組みをしていきたいと思っております。

虹のネット

私は団塊の世代であり、核家族である。いま社会は変わって来つつあり、人口は減り超高齢者社会が来ておひとり様あたりまえの時代にすでになつて来ている様である。料理番組の材料の分量も一人前で紹介されるようになっていふ。近畿ブロック組合員交流集に参加して来た。この中で語られた事は、このままで地域のつながりがなくなり安心して暮らし続ける事が出来なくなってくる社会がやってくる。安心をお金で買う時代でもあるようだが、お話し相手サービスというのがあり、電話で10分間話をして1000円、内容は雑談であり、10万20万円と使う人もあるらしい。無料ではいやなのだそう。自分が亡くなったあとどうなるのか不安なため、生きていくうちに、あるNPOに登録すると24時間の見守り、入院の時の保証人、死後も守ってもらえる。この契約を済ませ笑顔で帰って行く人もあるという。▼私達は医療生協の組合員です。隣にも同じ組合員がいます。おせっかいが好きな人達の集まりです。時には助けられる事を受け入れる事も上手になりましょう。こんな時代だからこそ生協を強く大きくする事が大切になってきます。生協の「わ」の中に入つて来て下さい。

(H・Y)

診察室から

人の口の中には信じられないくらい多くの細菌が住んでいます。細菌の集団は、歯の表面にくっつき、ネバネバの糊を分泌して、さまざまな種類の細菌を集め増殖して厚い層になります。

この歯垢の中は、細菌が歯ぐきの下へと増殖します。この歯垢を放つと、歯周病や歯肉炎、歯に炎症が生じます。歯と歯ぐきの境界にもまた別の種類の細菌の塊ができ、歯周病の原因となります。

この歯垢の中は、細菌が歯ぐきの下へと増殖します。この歯垢を放つと、歯周病や歯肉炎、歯に炎症が生じます。歯と歯ぐきの境界にもまた別の種類の細菌の塊ができ、歯周病の原因となります。



歯周病予防
歯科に定期受診を

生協森の宮歯科 医局長 柏樹 和

歯垢がたまると、歯肉に炎症が生じます。歯と歯ぐきの境界にもまた別の種類の細菌の塊ができ、歯周病の原因となります。

歯周病予防
歯科に定期受診を

歯垢がたまると、歯肉に炎症が生じます。歯と歯ぐきの境界にもまた別の種類の細菌の塊ができ、歯周病の原因となります。



患者さんや地域のことをもっと知り
生き字引をめざしたい

奥村 陽子

看護学校を卒業しヘルスコープへ入社し10数年。病棟や外来で働かせていただき、振り返ればあつという間ですが、たくさん患者さんやスタッフを支えられ見守られてきたんだなと思えます。

新人の頃は仕事を覚えるのに精一杯、少し慣れたころに、患者さんから「あんなの初めての採血は私やっつたよ」と言われて、失敗してもいいからと心強く腕をさしだして、くられた患者さんだったのを思い出しました。病棟では、仕事をしながらの子育てに不安もありましたが、先輩から色々教えてもらいました。

現在は1年半前からの生協診療所で働いています。やっと患者さんの名前とお顔が一致するようになり、お一人一人の生活背景なども把握できるようになりました。診療所では組合員さんと一緒に地域を訪問する事が多く、組合員さんが地域や診療所を支えてくださっている事を感ずります。患者さんや地域の事をもっと知り、師長さんのような「生き字引」を目指していきたいと思っています。

患者さんや地域のことをもっと知り
生き字引をめざしたい

奥村 陽子

看護学校を卒業しヘルスコープへ入社し10数年。病棟や外来で働かせていただき、振り返ればあつという間ですが、たくさん患者さんやスタッフを支えられ見守られてきたんだなと思えます。



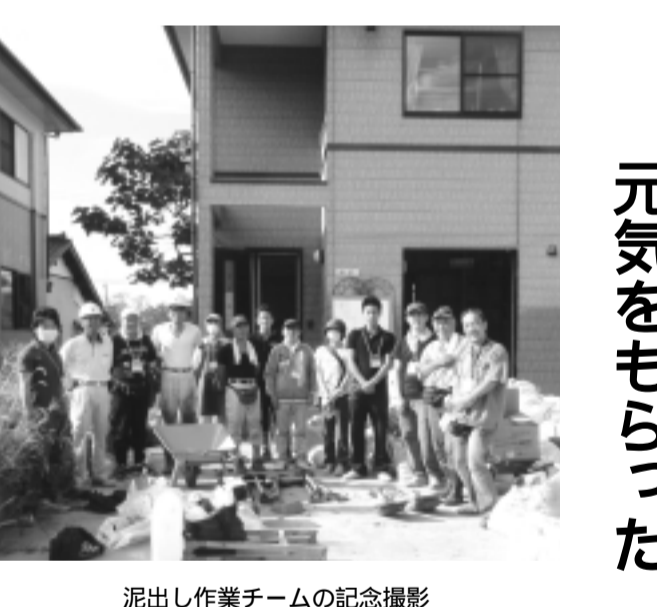
お元気でですか訪問

8月23日(火)
鶴見区民ホール
142名が参加

5月・6月に取り組んだ「お元気でですか訪問」の事例を報告し、篠崎次男さん(日本高齢者運動連絡会顧問)からの「医療・介護をめぐる情勢とまちづくり」をテーマにお話しがありました。篠崎さんから「地域で困っている事例を生協の協力の力で解決に向けて努力がなされている」と感銘を受けた。困ったとき医療生協の支部長や班長さんのことが思い出されるような活動をすすめていくことが大切。この集会をゴールではなく、まちづくりの新たなスタートにして

東日本震災支援 レポート⑥

風化させてはならない支援



泥出し作業チームの記念撮影

8月26日(金)夜にバスで出発、支援先である宮城県山元町に到着したのは27日(土)の午前8時頃。短時間で打合せを済ませ、6つのチームに分かれて活動に出発。

健康チエックチームは仮設住宅で活動。身体はどうもなれとおっしゃられる方の血圧をはかると160以上という場合が多く、仮設での生活にストレスを感じている方が多いようでした。また家の中にあけてくれ、話しを聞いてもらえただけで胸のつかえが取れたと話される方もおられました。

泥出しチームは、床板をはがし床下にたまったヘドロを取り除くというのが主な作業。大工さんと地元ボランティアさんと一緒に汗だくになりながらの重労働でした。

午後3時には作業を切り上げ、銭湯で入浴と食事を済ませ、午後7時には宮城

参加してこちらが元気をもらった

8月26日(金)夜にバスで出発、支援先である宮城県山元町に到着したのは27日(土)の午前8時頃。短時間で打合せを済ませ、6つのチームに分かれて活動に出発。

2011原水爆禁止世界大会



フクリュウ(第五福竜丸)からフクシマへ

8月4日に原水爆禁止世界大会の代表団結団式に参加しました。結団式に先立ち行われた講演では第五福竜丸展示館学芸員の安田和也さんに、「第五福竜丸核なき世界への航海をフクリュウからフクシマへ」という題でお話しして頂きました。第五福竜丸建造からピキニ環礁での被ばくそして第五福竜丸展示に至る経緯を詳しく説明して頂きました。結団式では、各支部から届いた折鶴と参加者からのエールを受け取りました。3日目は、平和式典会場に折鶴を届け、岡まのり記念館を見学後、開会総会に出席しました。記念館では日本の戦争加害者

代表団結団式(8月4日)

2011世界大会に、組合員、職員合わせて32名で参加しました。1日目の開会総会には7千8百人の参加者が集まり、その人の多さを圧倒されました。これだけの多くの人々が共に原水爆禁止を訴えている事を知り、勇気をもらいました。2日目の佐世保の基地見学に参加し、その異様に驚きました。3日目は、平和式典会場に折鶴を届け、岡まのり記念館を見学後、開会総会に出席しました。記念館では日本の戦争加害者

コープおおさか病院・診療案内

2011.9.1現在

診療科目	月	火	水	木	金	土
内科	○	○	○	○	○	○
循環器特診						
呼吸器特診			○			
無呼吸いびき外来				○(第3週)		○(第1)
心療内科(完全予約)				○		
外科	○	○	○	○	○	○(2・4)
整形外科	○	○	○	○	○	○※
泌尿器科	○	○	○	○	○	○
皮膚科	○	○	○	○	○	○
眼科※(完全予約制)	○	○	○	○	○	○(1・3)
糖尿病特診			○隔週			
小児科	○	○	○	○	○	○
歯科	○	○	○	○	○	○
健康診断	○	○	○	○	○	○
女性外来	○	○	○	○	○	○
糖尿病特診			○			
胸部疾患			○(1・3)			
泌尿器 ED外来			○(1・3)			
心療内科(完全予約)				○		
循環器特診						○
乳児検診・予防接種	○	○	○	○	○	○
リウマチ特診				○(2・4)		
小児科	○	○	○	○	○	○
眼科	○	○	○	○	○	○
婦人科健診						
神経内科						
女性外来						
眼科						
内科	○	○	○	○	○	○
循環器特診						○(月1回不定期 完全予約制 8:00~)
外科	○	○	○	○	○	○
整形外科						
泌尿器科						
皮膚科	○	○	○	○	○	○
小児科※	○	○	○	○	○	○
歯科	○	○	○	○	○	○
禁煙外来			○隔週火			

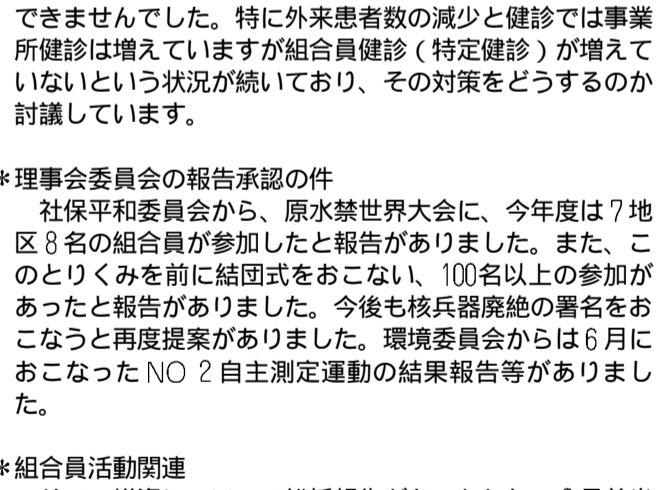
受付時間 17:00~19:30 診察時間 17:30~

※眼科は完全予約制です。※小児科の夜の診察受付は18時30分までです。※整形外科土曜日の診察は10時からです。

理事会だより

2011年度第2回理事会が8月20日(土)午後2時18分から午後5時08分まで本部5階で開催されました。理事は38名中31名の出席でした。監事は3名中2名の出席でした。オブザーバ出席は12名です。理事会前に「無料低額診療について」の学習会をおこないました。

(報告承認事項)
*6月の経営報告
7月は純利益が1,224万円出たものの、予算比では達成できませんでした。特に外来患者数の減少と健診では事業所健診は増えていますが組合員健診(特定健診)が増えていないという状況が続いており、その対策をどうするのか討議しています。



*理事会委員会の報告承認の件
社保平和委員会から、原水爆世界大会に、今年度は7地区8名の組合員が参加したと報告がありました。また、このとりくみを前に結団式をおこない、100名以上の参加があったと報告がありました。今後も核兵器廃絶の署名をおこなうと再度提案がありました。環境委員会からは6月におこなったNO2自主測定運動の結果報告等がありました。

*組合員活動関連
サマー増資についての総括報告がおこなわれ、9月前半に各地区別におこなわれる組合員活動交流集会についての位置づけ・内容等についての説明と今年度の組合員が受講する通信教育の申込み状況報告がありました。生協強化月間方針【案】について提案があり、案に対するの討議をおこない、月間の成功に向けて意思統一をはかりました。

*その他の件
あかがわ小規模多機能住宅介護施設・グループホーム建設業者見積もりが4業者からあり、工期の関係から最終選定業者決定は常勤部に一任して欲しいと提案がありました。コープおおさか病院増改築工事について工事内容、工事期間、費用、旅行会社について、及び増築に伴う機器の購入について報告提案がありました。グループホームゆびかすプリンター設置の件は大阪市からプリンター設備整備費補助金の決定通知書が届き、今後は設置工事に関し入札公示をおこなうと報告がありました。

コープおおさか病院コーナー

快適な入院生活を送っていただくために
褥瘡(床ずれ)対策

じょくそう(褥瘡)とは長期ベッドに寝ている患者さんに多くみられるいわゆる「床ずれ」と呼ばれるものです。コープおおさか病院では院内での「じょくそう」の発生率をおさえること、入院時の「じょくそう」を悪化させないことを目標に、さまざまな対策委員会をつくり、さまざまな対策を試みています。

長時間の圧迫とずれの力が長時間にわたって加えられることが、褥瘡の原因です。これを防ぐには、褥瘡予防の学習会を開いています。できるだけ快適な入院生活を送るだけだからという活動も、在宅の患者様にも情報提供していきたいと思っています。

コープおおさか病院
じょくそう対策委員会

参加してこちらが元気をもらった

8月26日(金)夜にバスで出発、支援先である宮城県山元町に到着したのは27日(土)の午前8時頃。短時間で打合せを済ませ、6つのチームに分かれて活動に出発。

